

# JIS

UDC 669.22 : 543.062

H 1181

## 銀地金分析方法

JIS H 1181 -1996

(2001 確認)

(2006 確認)

平成 8 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和39.3.1 改正：平成8.11.20

官報公示：平成8.11.20

原案作成協力者：日本鉱業協会

審議部会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会（部会長 福迫 達一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 銀地金分析方法

H 1181-1996

## Methods for chemical analysis of silver bullion

1. 適用範囲 この規格は、JIS H 2141に規定する銀地金中の鉛、ビスマス、銅及び鉄の定量方法について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS H 2141 銀地金

JIS K 0050 化学分析方法通則

JIS K 0116 発光分光分析通則

JIS K 0121 原子吸光分析通則

JIS Z 8401 数値の丸め方

2. 一般事項 分析方法に共通な一般事項は、JIS K 0050、JIS K 0116及びJIS K 0121による。

### 3. 分析試料の採り方、取扱い方及びはかり方

3.1 試料の採り方 試料の採り方は、次による。

(1) 鑄込試料又は製品試料から切粉を採るときは、試料の品質を代表するように採取箇所を選び、試料面に直角にボーリングして貫通させるか、又はその他の方法による。

(2) ボーリングによって切粉試料を採るときは、あらかじめドリルその他の工具類をエタノールなどを用いて清浄にする。試料採取箇所の表面付着物を取り除き、次に油類その他の減摩材を用いないで、切粉が酸化しない程度の力を与えてボーリングを行う。この際、ドリルの圧力及び回転数などを加減して、極端に発熱しないようにしなければならない。

また、冷却するために水などを注いではならない。

(3) 切粉試料は、その全部を集め、強力な磁石を用いて鉄粉などを除去した後、清浄なはさみなどを用いて約5 mm以下に切断し、よく混ぜ合わせて分析用試料とする。

(4) 分析用試料の採取と調製が、(1)～(3)の規定によることができない場合には、受渡当事者間の協議によって定める。

3.2 試料の取扱い方 試料の取扱い方は、次による。

(1) 分析用試料は、汚染を防止するため、ふた付きガラス容器などに入れ、密封して保存する。

(2) 分析用試料は、その表面に油などが付着しているおそれがあるときは、あらかじめエタノール、アセトンなどで洗浄して乾燥する。

3.3 試料のはかり方 試料のはかり方は、次による。

(1) 分析試料のはかり取りに際しては、試料をよくかき混ぜて平均組成を代表するように注意しなければならない。

(2) 分析試料のはかり取りには、化学はかりなどを用い、10 mgのけたまではかる。